

病気や事故、  
自死によって  
大切な人を失った  
家族の悲嘆と  
移りゆく悲しみを  
支える

# 遺族の悲嘆とグリーンケア

「ちいさな風の会」(子を亡くした親の会)での18年の実践を中心に

講師 わかばやし かずみ  
若林 一美

山梨英和大学人間文化学部教授。立教大学大学院教育学専攻修士課程修了。

ホスピス運動、デス・スタディに早くから取り組み、アメリカ、ミネソタ大学社会学部「死の教育と研究センター」に研究員として留学。子どもを亡くした親の会「ちいさな風の会」(1988年設立)世話人、IWG(死と遺族の国際会議)会員、Illness, Crisis and Loss 編集委員。

著書「自殺した子どもの親たち」(青弓社)、「亡き子へ—悲しみを超えて綴るいのちへの証言」(岩波書店)、「死別の悲しみを超えて」(岩波現代文庫)、「悲しみを超えて生きる」(講談社)、「穏やかに死ぬということ」(主婦の友社)、「デス・スタディ—死別の悲しみとともに生きる時」(日本看護協会出版会)、「あー風—愛する人の死を看取るとき」(PHP研究所)他多数。



日時 ●平成18年10月25日(水)

18:30~19:40

会場 ●山梨大学 医学部キャンパス

中央市下河東 1110

臨床講義棟小講義室

入場無料

問い合わせ先●附属図書館医学分館

055-273-9357 (医学情報グループ)

\*駐車場が手狭なため乗り合わせておこしください。

## 「生と死のコーナー」の紹介

山梨大学附属図書館医学分館では、「生と死」に関する資料を集めた「生と死のコーナー」を設けています。このコーナーは、医療従事者をめざす学生にとって、「生と死」について考えるきっかけになればという目的で始められました。現在では約1,000点の資料(図書、雑誌、ビデオ)を所蔵しています。

学外の方もご利用いただけます。詳細については、山梨大学附属図書館医学分館ホームページ(<http://www.yamanashi-med.ac.jp/~toshohome.html>)をご覧ください。医学分館(TEL: 055-273-9357)までお問い合わせください。

